

**リコーの
新しい環境目標と
RE100参加について**

**～脱炭素社会に向けた
リコーの取り組み～**

2017年11月29日

株式会社リコー

執行役員

サステナビリティ推進本部長

加藤 茂夫

● **創業の精神**

「人を愛し、国を愛し、勤めを愛す」 —三愛精神—

● **経営理念**

私たちの使命

世の中の役に立つ新しい価値を生み出し、提供しつづけることで、
人々の生活の質の向上と持続可能な社会づくりに積極的に貢献する

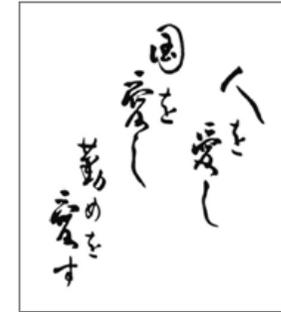
私たちの目指す姿

世の中にとって、なくてはならない信頼と魅力のブランドでありつづける

私たちの価値観

顧客起点で発想し、高い目標に挑戦しつづけ、チームワークを発揮して
イノベーションを起こす

高い倫理観と誠実さを持って仕事に取り組む



—創業の精神—



創業者 市村 清

サステナビリティに関する2つの大きな合意

～ 2015年は、国際社会・企業にとって歴史的な大転換の年 ～

・パリ協定への合意



低炭素から脱炭素へ。

・持続可能な開発目標 (SDGs)への合意



社会課題の具体的なターゲットが明確に。

COP21を公式スポンサーとして支援

- ・環境経営の取り組みが評価され、仏政府からスポンサーの打診を受けた。
- ・再生複合機53台、プリンタ124台で会場全体のプリンティング環境を提供。



COP23では、脱炭素化に向けた具体的なアクションが議論の中心

- 「パリ協定」のルール作りについて、交渉加速で合意
- COP23キーワード：
 - ✓ Further, Faster, Together
 - ✓ Net Zero by 2050, Decarbonization
 - ✓ Vision to Action, Action to Transactions
 - ✓ Whole Supply Chain Upstream and Downstream
 - ✓ No more Coal, Stranded Asset and Waste Capex

WeMeanBusiness(RE100)イベント



The Climate Group @ClimateGroup フォローする

#RICOH has been the first Japanese company to join #RE100 and it has a target to source 100% renewable electricity by 2050, with an interim goal of at least 30% by 2030. At #COP23 Sergio Kato, Corporate VP, explains the benefits of being part of @theRE100

英語から翻訳



7:27 - 2017年11月15日

The Climate Group によるインタビュー



WWF(SBT)イベント



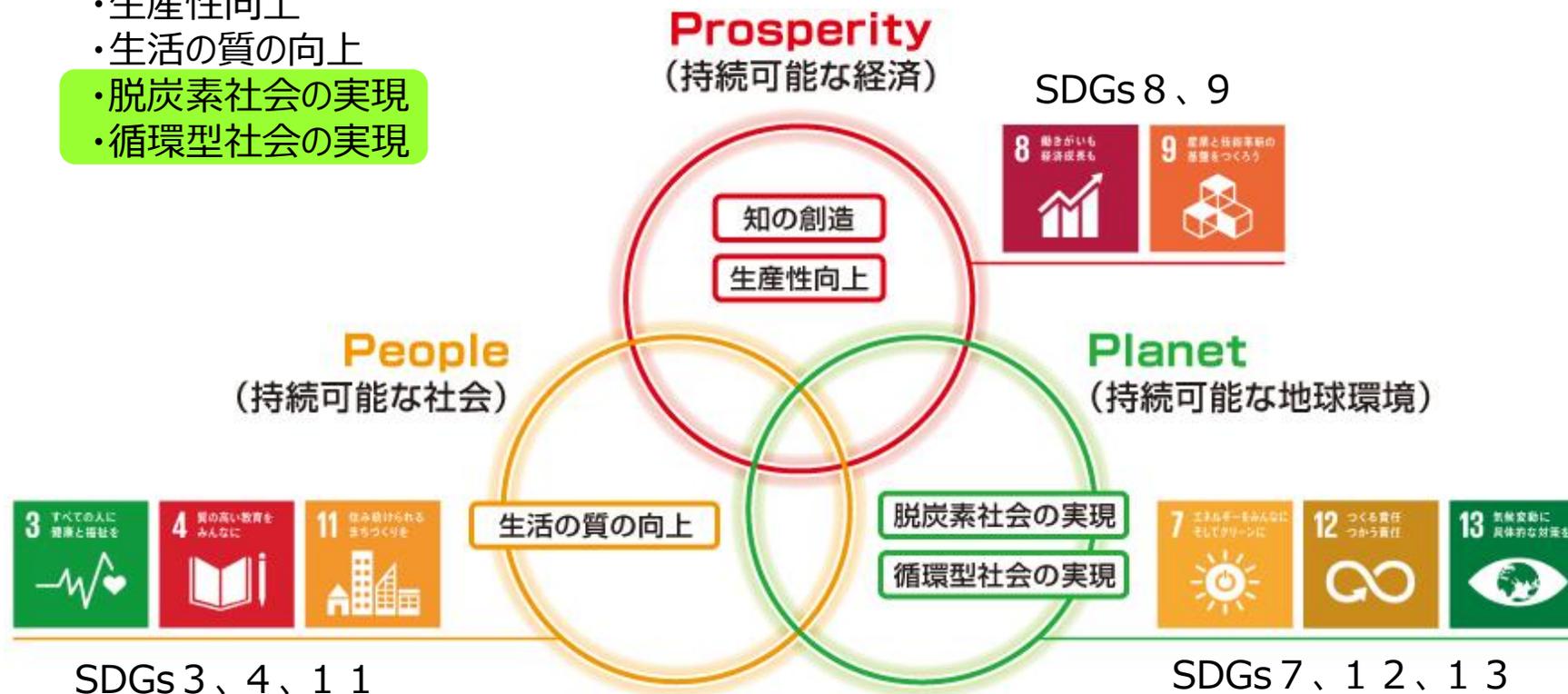
NHK による取材

リコーが取り組む5つの重要社会課題

国連が定めるSDGsやパリ協定を踏まえて5つの重要社会課題を設定。
 「脱炭素社会の実現」と「循環型社会の実現」について目標を設定。

5つの重要社会課題を3つのPに分類し、関連するSDGsを整理。

- ・知の創造
- ・生産性向上
- ・生活の質の向上
- ・脱炭素社会の実現
- ・循環型社会の実現

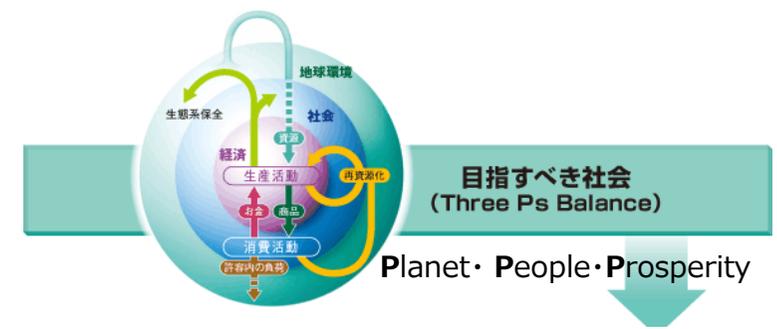


SBT認定された新しい環境目標

パリ協定を踏まえた新たな環境宣言・環境目標の設定

⇒脱炭素社会/循環型社会づくりへの取り組みを強化。

※7月14日 **SBT認定**



新設

リコーグループ環境宣言
 環境負荷削減と地球の再生能力向上に取り組み、
 事業を通じて**脱炭素社会、循環型社会**を実現する。

環境行動計画(3年毎)
 具体的アクションプラン

新設

2030年目標

- ・スコープ1, 2 30%削減
- ・スコープ3 15%削減
 (調達、使用、物流)
 (何れも2015年比)
- ・製品の省資源化率：50%

改定

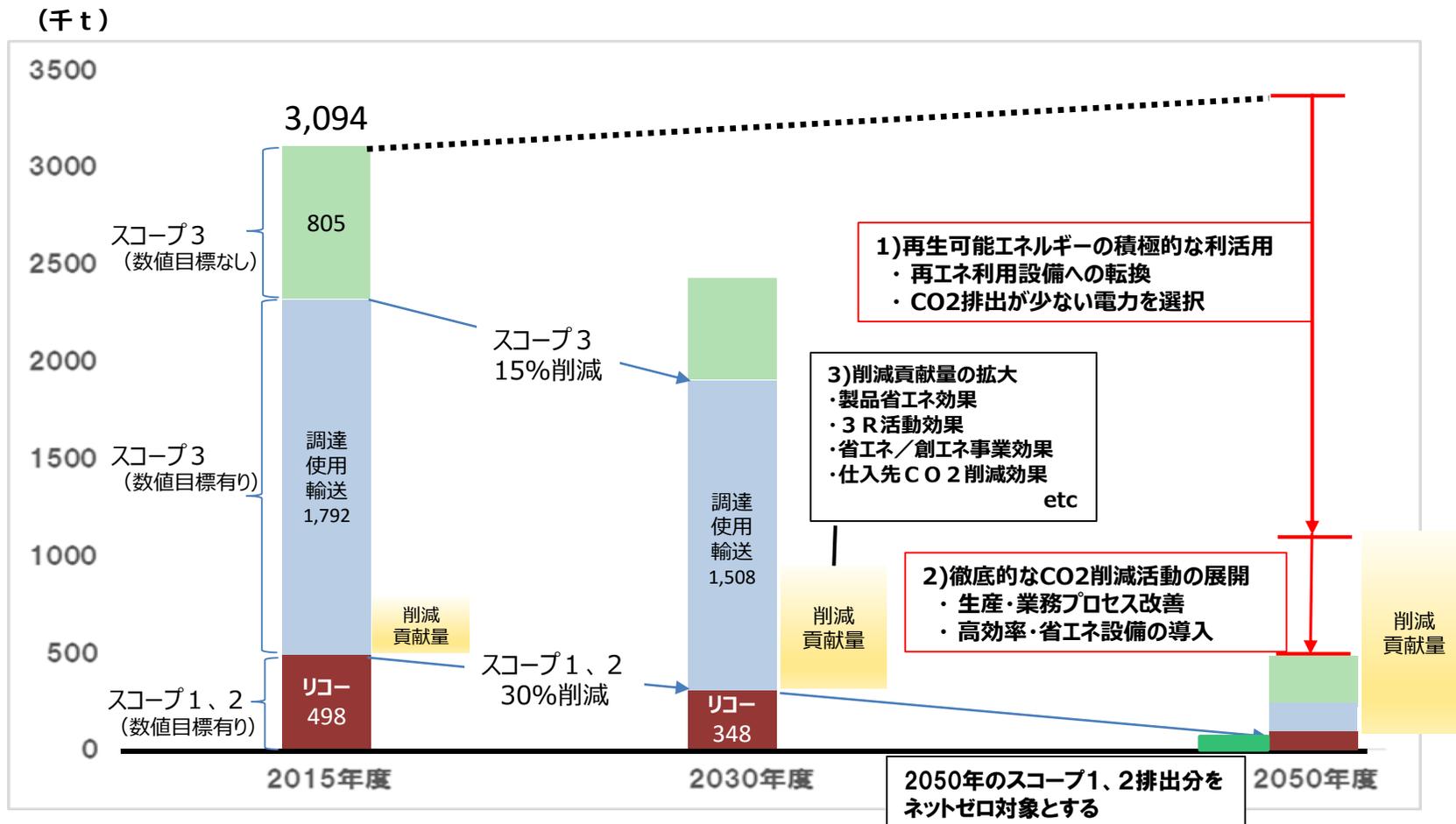
2050年目標

- ・バリューチェーン全体のGHG排出ゼロを目指す
- ・製品の省資源化率：93%

脱炭素目標達成に向けたアプローチ

- 1)再生可能エネルギーの積極的な利活用
- 2)徹底的なCO2削減活動の展開
- 3)顧客・社会の省エネ・CO2削減を拡大(削減貢献量)

仕入先企業や顧客にも協力を働きかけ、社会全体での取り組みを促進する



RE100への参加表明（日本企業として初）

リコーの再エネ活用目標

使用電力を2050年までに100%、2030年までに少なくとも30%再生可能エネルギーで賄う

RE100参加理由

- ・ 再エネの積極活用の企業姿勢をグローバルに明示し、社内の意識づけを図る。
- ・ 推進中の省エネ、創エネなどエネルギー関連ビジネス展開の後押しを図る。
- ・ ESG投資、各種企業評価制度における評価向上に繋げる。
- ・ 電力需要家の立場から再エネの必要性を意思表示、供給側の変革を促す。

RE100とは

事業に必要な電力を100%再生可能エネルギーで賄うことを目指す国際的な企業集団。

RE参加企業数 111社（2017年9月末現在）

ネスレ、イケア、ナイキ、BMW、GM、HP、フィリップス、P&G、スターバックス、
 コカコーラ、ユニリーバ、ウォルマート、ゴールドマンサックス、
 バンク・オブ・アメリカ、UBS、グーグル、フェイスブック、ブルームバーグ、リコーなど



脱炭素に向けた4つの方針と3つの戦略

More Growth
さらなる成長

Less Risk
経営リスクの最小化

Lower Cost
経費・コストの削減

More Trust
企業価値・信頼性向上

経済性との両立を目指した
3つの戦略・狙い

- 戦略① リコー技術の省エネ・再エネ視点での差別化
自社の技術で脱炭素社会実現に貢献
長期視点で技術を育成する活動の推進
- 戦略② 省エネ・再エネ関連ビジネスの育成
自社の強みを活かせる事業モデルの育成
- 戦略③ 省エネ・再エネによる自社拠点の“脱”炭素化
「脱炭素化」への体質強化を狙った再エネの活用・省エネの徹底
「脱炭素化」実践企業のイメージ向上

全社プロジェクトチームを設置して再エネ利活用を推進

事例：省エネ・再エネによる自社拠点の脱炭素化



2017年4月 米・ニュージャージー販売拠点
太陽光発電システム(完成予想図)



2017年6月 アジアパシフィック本社 RE100達成計画を発表



Ricoh Germany

2017年現在 欧州では5販社が
100%再生可能エネルギーを達成



2011年 米・カリフォルニア生産拠点 太陽光発電システム設置



RICOH
imagine. change.